

第 62 回日本小腸学会学術集会

会長挨拶



このたび、伝統ある日本小腸学会の第 62 回学術集会を 2024 年 10 月 19 日（土）に東京都千代田区の大手町サンケイプラザホールを会場に開催させていただくことになり、たいへん光栄に存じております。

日本小腸学会は、1979 年に小腸研究会として発足して以来、ほぼ半世紀にわたり小腸に関する活発な研究発表を行なってきました。この歴史ある学会の学術集会を、松本主之理事長、そして役員諸兄のご指導の下に鋭意準備を進めてまいりました。

テーマは、「知る、診る、そして治す小腸学」としております。小腸は消化吸収に不可欠な臓器です。消化吸収という生命維持の基本メカニズムはその恒常性の維持を含め、より深い理解が求められ、それに基づく応用が期待されるところです。小腸疾患の頻度は高くなく腫瘍も少ないため、以前は臨床現場で話題になることは多くはありませんでした。しかし、炎症性腸疾患の増加や診断機器の進歩に伴い重要な医療分野となっており、治療方法の進歩は、疾患の自然史を変え、患者の生活の質を改善しつつあります。

主題としては、小腸疾患の診断、小腸疾患の治療、そして小腸の基礎研究・トランスレーショナル研究をテーマにご発表いただきます。また、進歩する小腸疾患の診断、評価、治療についての講演を第一線の先生方をお願いしております。本学会が小腸学発展の一助となれば幸いです。

多数の皆様のご参加をスタッフ一同心よりお待ちしております。

2024 年 10 月吉日

第 62 回日本小腸学会学術集会
当番会長 大塚 和朗
東京科学大学病院 光学医療診療部

参加者へのご案内

【参加費】

- ・ 会員……………5,000 円
- ・ 非会員……………10,000 円
- ・ 学生、初期研修医…1,000 円（参加受付にて学生証または証明書をご提示ください。）
- ・ 賛助会員……………無料（1 口 1 名様まで）申込口数を超える場合は 2,500 円

【受付】

午前 8 時 15 分より大手町サンケイプラザ 3 階ロビーにて開始いたします。

【プログラム抄録集】

- ・ 会員の方は Website にて閲覧が可能です（パスワードは事務局からのメールをご覧ください）。
- ・ 会場にて 1 部 2,000 円にて販売いたします。
※数に限りがありますので完売した場合はご了承ください。

【クローク】

仮設クロークをご利用ください。

【取得可能単位】

日本消化器病学会専門医等更新単位

本学会は日本消化器病学会専門医制度における関連学会として承認されました。

本学術集会への参加で 3 点、筆頭演者で 2 点の日本消化器病学会専門医等更新単位を申請できます。

日本消化器内視鏡学会専門医・指導医の業績ポイント

日本消化器内視鏡学会の学会指定関連他学会として、本学術集会への参加で 3 点、筆頭演者で 2 点、共同演者 1 点を日本消化器内視鏡学会専門医・指導医の業績ポイントとして申請できます。

■座長・司会者の先生方へ

1. 受付をセッション開始の 30 分前までにお済ませください。
2. ご担当セッション開始の 15 分前までに、会場内の次座長席にお越しください。
3. セッションの開始時間となりましたらセッションを開始してください。終了時間を厳守していただきま
すようご協力をお願いいたします。

■口演発表者の先生方へ

主題、一般演題の発表時間は下記の通りです。

	発表	質疑
主題セッション1	8分	4分
主題セッション2	10分	4分
主題セッション3	10分	5分
一般演題	8分	4分

データをメディアにて持ち込まれる先生方へ

1. 当日は発表予定時間の30分前までに、「PC受付」にて試写用PCで発表データの確認を行ってください。
2. お持ち込みいただけるデータはUSBフラッシュメモリーのみです（メディアにウイルスが感染していないことをご確認の上お持ち込みください）。
3. データの容量は最大で1GB程度にしてください。
4. OSとアプリケーションは以下のものをご用意いたします。
 - * OS Windows10
 - * アプリケーション Windows版PowerPoint 2021Macintoshで作成された方はMac本体をお持ちください。
尚、Windows上でデータを開くことも可能ですが、Macintosh上での表示と異なる場合もございます。
5. フォントはOS（Windows10）標準のもののみをご用意いたします。
6. 発表に使用するPCは全てXGA（1024×768）に統一していますので、ご使用のPCの解像度をXGAに合わせてからレイアウトを確認してください。
7. 動画や音声をご使用になる場合は、受付の際に必ずお知らせください。
8. 動画などの参照ファイルがある場合は、すべてのデータを同じフォルダに入れてください。尚、PowerPoint2010以降は動画ファイルをスライドデータに埋め込む機能がありますが、下位バージョンで編集されますと、その機能が失われる事があります。
 - * 動画ファイルの注意点Windowsの場合10（OS）及びWindows Media Player12の初期状態に含まれるコーデックで再生できるファイルをお持ちください。動画ファイルはWMV又はMP4形式を推奨します。
9. 発表データ作成後、作成したPC以外のPCで正常に動作することを確認してください。
10. 発表時には、演台のマウスとキーボードで操作をお願いします。発表者ツールは使用できません。
11. 発表データは、「PC受付」のサーバーと会場のPCに一時保存いたしますが、お預かりしたデータは本学会終了後、責任を持って廃棄します。

ご自身のPCをご使用になる方へ

1. 発表予定時間までの30分前までに、「PC受付」へお越しください。
2. 「PC受付」の試写用モニターに正しく映像が出力されることを確認してください。
3. 「PC受付」ではHDMIケーブルをご用意いたします。一部のノートPCでは本体付属（別売り）のコネクタが必要な場合がありますので、必ずお持ちください。

【事務局】

東京科学大学病院 光学医療診療部
〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

【運営事務局】

第62回日本小腸学会学術集会 運営事務局
株式会社コンベンションプラス内
TEL：03-4355-1135 FAX：03-6837-5339
MAIL：62jssid@convention-plus.jp

交通のご案内

大手町サンケイプラザ

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-7-2 TEL：03-3273-2230



交通

地下鉄各線「大手町駅」A4・E1 出口直結／丸ノ内線・半蔵門線・千代田線・東西線・都営三田線
JR「東京駅」丸の内北口より徒歩7分

会場のご案内

大手町サンケイプラザ 3階



日程表

	第 1 会場 (3 階 311+2)	第 2 会場 (3 階 301+2)
8:00		8:55 ~ 9:00 開会の辞
9:00	9:00 ~ 10:00 主題セッション 1 小腸の診断 司会：緒方 晴彦、土屋 輝一郎	9:30 ~ 9:55 スポンサーDMINIレクチャー 新型 DBE の有用性と期待 司会：今枝 博之 演者：矢野 智則 共催：富士フィルムメディカル株式会社
10:00	10:00 ~ 10:30 理事長講演 私と小腸学 司会：渡邊 守 演者：松本 主之	
11:00	10:30 ~ 11:30 主題セッション 2 小腸の治療 司会：仲瀬 裕志、平井 郁仁 共催：アッヴィ 合同会社	10:30 ~ 11:30 一般演題 司会：松岡 克善、今枝 博之
12:00	11:40 ~ 12:30 ランチョンセミナー 1 Multi-Option 時代のクローン病内科治療戦略を考える 司会：内藤 裕二 演者：中村 志郎 共催：東亜新薬株式会社／東亜薬品工業株式会社	11:40 ~ 12:30 ランチョンセミナー 2 消化管疾患における小腸の重要性～腸内細菌叢との関連も含めて～ 司会：金井 隆典 演者：猿田 雅之 共催：ミヤリサン製薬株式会社
13:00	12:45 ~ 13:00 総会・評議員会	
	13:15 ~ 13:45 特別講演 小腸幹細胞学 ―知る、診る、そして治す― 司会：大塚 和朗 演者：岡本 隆一	
14:00	13:45 ~ 14:15 教育講演 1 IBD 診療における栄養療法の意義を改めて考える 司会：久松 理一 演者：江崎 幹宏 共催：EA ファーマ株式会社	13:45 ~ 14:35 スポンサーセミナー 1 クローン病小腸病変の評価と治療 司会：大森 鉄平 演者：竹中 健人 共催：ゼリア新薬工業株式会社
	14:15 ~ 14:45 教育講演 2 クローン病の小腸病変で腸管エコーが必須の理由 司会：片岡 幹統 演者：佐上 晋太郎 共催：武田薬品工業株式会社	
15:00	14:45 ~ 15:35 アフタヌーンセミナー 小腸疾患に対するシングルバルーン内視鏡のアプローチ 司会：細江 直樹 演者：日比谷 秀爾、伊藤 貴博 共催：オリンパスマーケティング株式会社	14:45 ~ 15:35 スポンサーセミナー 2 クローン病の小腸病変に対する腸管超音波検査 司会：緒方 晴彦、土屋 輝一郎 演者：三好 潤 共催：田辺三菱製薬株式会社
16:00	15:35 ~ 16:35 主題セッション 3 小腸の基礎研究・トランスレーショナル研究 司会：穂苅 量太、根本 泰宏	15:35 ~ 15:50 共同研究提案
17:00		16:35 ~ 16:40 閉会の辞

第 62 回日本小腸学会学術集会 プログラム

第 1 会場 3 階 311 + 2

8:55~9:00

開会の辞

9:00~10:00

主題セッション 1 「小腸の診断」

司会： 緒方 晴彦（藤田医科大学東京 先端医療研究センター / 羽田クリニック）

土屋 輝一郎（筑波大学医学医療系 消化器内科）

S1-1 出血性小腸大腸潰瘍をきたした ATTR アミロイドーシスの一例

白崎 友彬（東京都立大塚病院 消化器内科）

S1-2 Crohn 病の病勢および Transmural healing を反映するマーカーの検討

前屋舗 千明（武蔵野赤十字病院 消化器内科）

S1-3 当院における小腸カプセル内視鏡検査の現状～ IBD 患者と非 IBD 患者の比較を中心に～

久能 宣昭（福岡大学病院 消化器内科）

S1-4 360° パノラマ撮影型小腸カプセル内視鏡の有用性と検査受容性の検討

平田 一成（広島大学病院 消化器内科）

S1-5 重症大動脈弁狭窄症における消化管出血性病変の臨床的特徴の検討

井上 健（京都府立医科大学 消化器内科学）

10:00~10:30

理事長講演 「私と小腸学」

司会： 渡邊 守（順天堂大学）

演者： 松本 主之（岩手医科大学 内科学講座消化器内科分野）

10:30~11:30

主題セッション 2 「小腸の治療」

司会： 仲瀬 裕志（札幌医科大学医学部 消化器内科学講座）

平井 郁仁（福岡大学医学部 消化器内科学講座）

共催：アッヴィ合同会社

S2-1 回腸腺腫に対してダブルバルーン内視鏡を用いて underwater EMR を施行した 1 例

濱谷 達起（岩手医科大学医学部 内科学講座消化器内科分野）

S2-2 カプセル内視鏡で小腸腺腫を発見し内視鏡的に切除した Lynch 症候群の 2 例

村上 徳（松山赤十字病院 胃腸センター）

S2-3 クローン病における生物学的製剤治療による狭窄病変への影響

河本 亜美（東京科学大学病院 光学医療診療部）

11:40~12:30 ランチョンセミナー 1「Multi-Option 時代のクローン病内科治療戦略を考える」

司会： 内藤 裕二（京都府立医科大学大学院医学研究科 生体免疫栄養学講座）

演者： 中村 志郎（大阪医科薬科大学病院 消化器内科）

共催：東亜新薬株式会社／東亜薬品工業株式会社

12:45~13:00 総会・評議員会

13:15~13:45 特別講演「小腸幹細胞学 ―知る、診る、そして治す―」

司会： 大塚 和朗（東京科学大学病院 光学医療診療部）

演者： 岡本 隆一（東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 消化器病態学）

13:45~14:15 教育講演 1「IBD 診療における栄養療法の意義を改めて考える」

司会： 久松 理一（杏林大学医学部 消化器内科学）

演者： 江崎 幹宏（佐賀大学医学部 内科学講座 消化器内科）

共催：EA ファーマ株式会社

14:15~14:45 教育講演 2「クローン病の小腸病変で腸管エコーが必須の理由」

司会： 片岡 幹統（国際医療福祉大学医学部 消化器内科学／国際医療福祉大学三田病院 消化器内科）

演者： 佐上 晋太郎（北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター）

共催：武田薬品工業株式会社

14:45~15:35 アフタヌーンセミナー「小腸疾患に対するシングルバルーン内視鏡のアプローチ」

司会： 細江 直樹（慶應義塾大学 予防医療センター）

小腸狭窄に対する内視鏡治療の実際

演者： 日比谷 秀爾（東京科学大学病院 光学医療診療部）

クローン病における小腸内視鏡挿入のポイントと IEE を用いた評価の実際

演者： 伊藤 貴博（札幌東徳洲会病院 IBD センター）

共催：オリンパスマーケティング株式会社

15:35~16:35

主題セッション 3「小腸の基礎研究・トランスレーショナル研究」

司会： 穂苅 量太（防衛医科大学校 消化器内科）
根本 泰宏（東京科学大学 消化器内科）

S3-1 小腸微生物叢を標的とした *Akkermansia muciniphila* 経口投与による肝硬変・高アンモニア血症の改善促進効果

小栗 典明（杏林大学医学部 消化器内科学）

S3-2 脂肪性肝疾患におけるトリプトファン代謝の検討

川口 章吾（弘前大学大学院医学研究科 消化器血液免疫内科学講座）

S3-3 小腸出血性血管性病変における血小板凝集能、von Willebrand 因子 (VWF) 高分子多量体欠損の解析

大宮 直木（藤田医科大学 先端光学診療学）

S3-4 ヒト iPS 細胞由来腸オルガノイドによる大型小腸組織の構築

水谷 知裕（東京科学大学 消化器内科）

16:35~16:40

閉会の辞

第2会場 3階 301 + 2

9:30~9:55

スポンサードミニレクチャー「新型 DBE の有用性と期待」

司会： 今枝 博之（埼玉医科大学 消化管内科）

演者： 矢野 智則（自治医科大学附属病院 光学医療センター内視鏡部）

共催：富士フイルムメディカル株式会社

10:30~11:30

一般演題

司会： 松岡 克善（東邦大学医療センター佐倉病院 内科）

今枝 博之（埼玉医科大学 消化管内科）

○-1 無症候期クローン病におけるカルプロテクチンを用いた小腸粘膜治癒
診断と再燃予測

基 一樹（旭川医科大学 内科学講座消化器内科学分野）

○-2 消化管出血を契機に小腸内視鏡検査で診断した肺大細胞癌小腸転移の
一例

横田 佳大（滋賀医科大学 消化器内科）

○-3 慢性偽性腸閉塞症に対して経胃瘻的空腸瘻による減圧治療後 1 年以上
外来管理できている著効例

齋藤 有栄子（自治医科大学 内科学講座 消化器内科学部門）

○-4 CapsoCam Plus[®] で出血源を同定しダブルバルーン内視鏡で止血しえ
た Osler-Weber-Rendu 病の 1 例

松本 悠（埼玉医科大学 消化管内科）

○-5 胆のう炎術後小腸リンパ管腫からの出血をダブルバルーン内視鏡で診
断できた一例

石井 亮佑（東京都立多摩総合医療センター）

11:40~12:30

ランチョンセミナー 2「消化管疾患における小腸の重要性 ～腸内細菌叢との関連も含めて～」

司会： 金井 隆典（慶應義塾大学医学部 内科学（消化器））

演者： 猿田 雅之（東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科）

共催：ミヤリサン製薬株式会社

13:45~14:35

スポンサードセミナー 1「クローン病小腸病変の評価と治療」

司会： 大森 鉄平（杏林大学医学部 消化器内科学講座 / 杏林大学医学部付
属杉並病院 消化器内科）

演者： 竹中 健人（東京科学大学 消化器内科）

共催：ゼリア新薬工業株式会社

14:45～15:35

● スポンサーセミナー 2「クローン病の小腸病変に対する腸管超音波検査」

司会： 緒方 晴彦（藤田医科大学東京 先端医療研究センター / 藤田医科大学 羽田クリニック）

土屋 輝一郎（筑波大学医学医療系 消化器内科）

演者： 三好 潤（杏林大学医学部 消化器内科学教室）

共催：田辺三菱製薬株式会社

15:35～15:50

● 共同研究提案